

いずみさの昔と今 第189回

「少し昔の道具たち③」食べ物保存する

現在、食べ物を保存するものに冷蔵庫がありますが、冷蔵庫ができるまでは、住居の土間に2〜4mの穴を掘り、そこに収穫したイモ類、根菜類、卵などを保存していました。これを室（むろ）といいます。室の中は年間をとおして温度や湿度が一定しているため、暑い時期の腐敗や寒い時期の凍結を防ぐことができました。

明治のはじめに氷がつくられるようになったことにより、明治36（1903）年に大阪で開催された第5回内国勸業博覧会において、日本で初めて冷蔵庫が紹介されました。この当時の冷蔵庫は「氷冷蔵庫」といわれ、木製の箱の内側にブリキの板を張り、冷気が外へ逃げない仕組みになっています。上段と下段に仕切りがあり、上段には氷を入れ、下段には食べ物をいれて保存します。氷は、自転車でリヤカーを引いた水屋が家々を回り、家の前で大きなこぎりを使って切り、鉄の引き上げばさみで氷を家に運んでくれていました。しかし、この氷冷蔵庫は、

氷をいれる場所の大きさなどから、いまの「電気冷蔵庫」のようになくさんの物を何日も保存することはできませんでした。写真の氷冷蔵庫は、泉佐野ふるさと町屋館（旧新川家住宅）で展示しているもので、高さが約75cm、幅が約45cmです。氷が溶けても、うまく外に排水できるようにになっており、下にいった食べ物ぐぬれないようになっています。

現在のような電気冷蔵庫は、

大正7（一九一六）年にアメリカで製造販売され、昭和5（一九三〇）年には国産の電気冷蔵庫が製造されるようになりました。そして戦後になって電気冷蔵庫が普及していき、昭和30年代には、テレビ、洗濯機とともに「三種の神器」と宣伝され、新時代の生活必需品といわれるようになりました。この電気冷蔵庫の普及により、氷冷蔵庫は台所から姿を消していったのです。3回にわたって少し昔の道具を紹介しましたが、今後も歴史館いずみさのでは、館蔵資料を中心に昔の道具類の展示や紹介をしていく予定です。



▲氷冷蔵庫

場所・申込・問合せ

歴史館いずみさの

☎4699・7140

Fax 4699・7141

いずれも

申込は8月2日(火)以降に

日根荘講座

「政基公旅引付」を読む

九条政基の日記「旅引付」から、500年前の日根荘での政基の生活や年中行事を学びます。

日時 8月25日〜9月29日の毎週木曜日 午後2時〜3時30分（全6回）

※9月29日は野外で見学会を行います。

定員 20人（先着順）

受講料 無料（資料代200円）

土曜れきし館

夏休みの工作

〜昔の遊び道具をつくる〜

水でつぼうや竹とんぼをつくらせて遊ばせよう。

日時 8月27日(土)
午後1時30分〜3時30分

対象 小学生以上

※保護者の参加可

定員 20人（先着順）

受講料 無料（材料費300円）



場所・申込・問合せ

泉佐野ふるさと町屋館

（旧新川家住宅）

☎4699・5673

【夏休み親子手づくり体験会】

開催日・内容

●8月1日(月)

陶芸、フェルト小物、パッチワーク・アクセサリー、木彫り工房、創作四季のほたる

●8月29日(月)

ドライフラワーアレンジメント、ビーズアクセサリー

時間 午前10時〜午後4時（受付は午後3時まで）

※各体験30分〜1時間

参加費 無料（材料費500円〜1,800円）

※申込不要（予約可）、子どものみの参加可

【ふるしき手づくりマーケット】

日時 8月6日(土)

午前9時30分〜午後4時

※申込不要、入場無料

【新川家の朝市】

日時 8月6日(土)

午前9時30分〜

※申込不要、入場無料

【着物で遊ぼう！〜着付け教室〜】

日時 8月22日(月)

午後1時30分〜

受講料 無料（茶菓代500円）

※着物一式を借りる場合は別途1,500円が必要

申込 8月19日(金)まで